同窓会報

岐阜県立羽島高等学校同窓会
平成24年９月10日　発行
E-mail　c27318@gifu-net.ed.jp
ホームページ http://school.gifu-net.ed.jp/hasima-hs/
〒501-6241羽島市竹鼻町梅ヶ枝町200-2
TEL(058)392-2500　FAX(058)391-7863

平成24年度 同窓会総会 懇親会のご案内

本年度のテーマ
『環～infinity～引き継がれる想いを明日へ～』

●日時　平成二十四年十月二十日(土)
午前十一時三十分(受付)～

●会場　ホテルグランヴェール岐山　三階　鳳凰の間

本年度の同窓会総会・懇親会は三十四回生が担当させていただきます。

今年、我が母校は創立九十周年を迎えました。

この節目の年に担当回生として企画・運営に関与させていただき、九十年という積み重ねられた時間に、これまで先輩方が築かれ、繋いでこられた伝統・連帯感のすばらしさを強く感じました。

また、昨年、私たちが活動を始めた直後には、大きな災害が起き、人の繋がり「絆」の大切さを再認識させられ、その「絆」が繋がって、大きな「輪」になっていくことを実感しました。

そして今年は、九三三年ぶりという貴重な金環日食の「輪」を見ることが出来ました。

そこで、私たち三十四回生は、今年の総会・懇親会のテーマを、先輩方が築かれた「礎」と繋いでこられた「縁」を大切に引き継ぎ、更に大きな「輪」を作ることをイメージして、『環』～引き継がれる想いを明日へ～としました。

『環』とは、「絆」で繋がる終わりのない「輪」です。

学校創立九十周年の節目に開催される本年度の同窓会総会・懇親会には、一人でも多くの方にご出席していただき、懐かしい同級生や恩師との再会を楽しむことはもとより、これまで面識の無かった先輩後輩の交流のきっかけの場となり、新たな「絆」が繋がり、来年以降、更には創立百周年に向けて大きな『環』を作る基礎となる総会・懇親会にしたいと考えています。

是非、皆様のご出席をお願いします。

なお、例年の総会・懇親会は十一月中旬に開催されてきましたが、本年は、学校創立九十周年記念式典に合わせての開催となりました。

会場は、昨年と同様グランヴェール岐山（三階 鳳凰の間）で行い、ホテルならではの美味しい料理とお酒を用意してお待ちしております。

アトラクションは、三十四回生、辻喬之君がプロデュースしているアコースティックユニット「雅音人(がねっと)」の心に染み入る歌声を聴いていただきます。

楽しい時間を提供出来るよう、三十四回生実行委員が全力で取り組んでおりますので、皆様のご出席を重ねてお願いいたします。

◎スケジュール◎
受付開始　十一時三十分
総　　会　十二時
懇 親 会　十三時

◎会費◎
五千円

◎チケット問い合わせ
実行委員長　堀　里司
☎090-2570-3110
＊当日チケットも用意しておりますので、是非お出かけ下さい。
なお、飲酒される方の車でのご来場はご遠慮下さい。

ご挨拶

同窓会長
脇坂　洋二

早いもので、私が会長の職を引き受けましてから四年が経ちました。同窓会役員の皆さん、並びに校長先生を始め教職員の皆さんのお力添えにより職務を遂行できていますことを、先ず以てお礼申し上げます。今後も皆様の変わらぬご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

この四年間、卒業式や入学式、そして学校創立九十周年記念事業の準備にと、度々母校を訪れる機会がありました。今現在の羽島高校の中で、自分が高校生であった当時を振り返ることができるものは、正門を入ってすぐの鉄筋コンクリート三階建ての校舎（現:南舎）だけとなっております。その校舎も、現在、大規模改修工事中でございます。私を含め、同窓生の皆様の勉学を支えた校舎が、四十有余年経ち姿を変えてしまうのは寂しくもありますが、老朽化した外壁が当時の綺麗な姿を取り戻すことができるかと思うと、楽しみでもあります。今後も後輩たちの学び舎として、長期にわたり活躍してくれることでしょう。

既にご承知のとおり、今年度我が羽島高等学校は、学校創立九十周年記念の年であります。その記念事業といたしまして、十六の教室にエアコンが設置されました。会員数が二万三千名にならんとする同窓会といたしましても、その事業に協力をさせていただきました。快適な学習環境のもとで、在校生の皆さんは自分の将来を切り開くためより勉学に励み、教職員の皆様には、引き続き温かいご指導により力強く彼らを支えていただきたいと思っております。

羽島市内唯一の高等学校として、九十年の歴史と伝統を持つ本校の現在の在校生たちは、より地域に密着した高等学校となるべく、部活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいてくれております。生徒会を中心とした朝のあいさつ運動や、Sクラブによる地域の清掃活動、老人ホーム、幼稚園の訪問活動は、従前より継続して行なっていただいております。図書委員会は校外で読み聞かせの活動をし、それをいつも楽しみにしている幼児もおります。吹奏楽部の「東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」は、新聞紙面や会場で直接ご覧になった方もお見えになるとは思いますが、昨年度四回、本年度も既に二回行われ、今後も更に継続していく計画があると聞いております。また、弓道部は昨年の岐阜県大会個人の部で、第三位に入る大活躍をしてくれました。他にも、書道部が毎年のように上位に入る輝かしい結果を残し、陸上部の選手も八種競技に初出場するなど、チャレンジ精神旺盛に頑張る後輩たちの姿には、目を見張るものがあります。会員の皆様も、機会がございましたら是非学校の方にお越しいただき、変わりゆく母校の姿や頑張っている後輩諸君をご覧いただきまして、心からの応援をいただければ幸いでございます。

末筆ではございますが、羽島高校の益々の発展と同窓生皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、会長の挨拶といたします。

校長就任のご挨拶

～創立九十年に感謝
未来へ羽ばたく羽島高校～

校長
杉山　昭彦

同窓生の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より母校の発展・充実のために多大のご支援を賜っておりますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

前任の加藤校長の後任として、四月一日付をもって、県立大垣工業高等学校から転任してまいりました。前校長同様に、ご鞭撻くださいますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は、清流木曽・長良川に抱かれ「水と緑」に恵まれたこの羽島の地に、大正十年に羽島郡実科高等女学校として誕生、翌年には岐阜県羽島高等女学校と改称し、昭和二十三年の学制改革で岐阜県立羽島高等学校となり、男女共学、定時制の設置等々大きな変革を加えながら地域の中心校として豊かな歴史を築いてきました。学校創立九十周年を迎えた県内でも有数の歴史と伝統ある学校であり、羽島市唯一の高等学校として、地元中学校や地域の方々から強い期待を担っております。『立志・好学・節度・勇健・創造』を校訓とする教育方針の下、地域から信頼され、愛される羽島高校を目指し、中学校や地域との連携を図りながら、キャリア教育の推進、基礎学力定着の取組、生徒指導・教育相談体制の充実など、本校独自の教育実践を行っております。

今日、長引く不況や東日本大震災による国内経済への影響など、社会の激しい変化と将来に対する不透明さが増す中で、入学した生徒一人一人に対して、確かな学力やコミュニケーション能力、主体性や実行力、規範意識やマナーなどをしっかりと身につけ、卒業させることが求められております。そのような状況の中で、平成十九年に文部科学省より「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」（平成二十三年一月「文部科学大臣表彰」受賞）、平成二十二年には岐阜県教育委員会より「ステップアップカリキュラム研究推進事業」の研究指定を受け取り組んでいるところです。今後ますます羽島高校が、地域に愛され、地域から支えられ、地域社会にとって有為な人材を輩出するという目的が果たせるよう職員一丸となって、毎日の教育実践を行っていく所存です。

平成二十四年十月二十日（土）に「学校創立九十周年記念式典及び記念芸術鑑賞会」を予定しておりますが、それに先立ち、記念事業の一環として「北舎HR教室へのエアコン設置」をしていただき、この夏より今まで以上の快適な学習環境が整備されました。また、平成二十四年一月より南舎屋上外壁等改修建築工事が行われ、八月に装いも新たに完成しました。羽島高校の歴史と伝統を受け継ぎ、新たな歩みを加えながら進歩・発展していけるように、教職員、全校生徒が決意を新たにしているところです。

最後になりましたが、同窓生皆様の益々のご健康と同窓会の発展を心より祈念いたしますとともに、同窓会総会並びに学校創立九十周年祝賀会で一人でも多くの皆様とお会いできる機会がありますことを楽しみにしまして、転任のご挨拶といたします。

我が母校

第十回卒業生
第三十四回生三年三組担任
田中　惠順

【我が母校】

◆前にも書いたことですが、羽島高校は、私にとって、《二重の意味》で、母校です。

①私は昭和三十二年度卒業の十回生です。

②それから二十年を経て、昭和五十二年度から平成二年度まで、十四年間の長きにわたって、母校に勤めさせていただきました。

◆「♪東に清き木曽の水…」と、母校の校歌を、数え切れないほど何度も、声高らかに歌うことができた私は、本当に《幸せ者》でした。

【共通一次元年】

◆昭和五十二年度、母校に着任した年には、大平真澄学年主任の下で、三年の副担任をしました。[三十回生]の皆さんとの出会いです。

◆翌五十三年度は、遠藤祐神学年主任の下で、三年五組の担任を務めました。[三十一回生]の皆さんとの《忘れがたい》一年です。

この年は「共通一次元年」と言われ、今のセンター試験が始まった年です。大学受験戦線は様変わりをし、いわゆる一流校といえども過去のデータが役立ちません。「千載一遇のチャンス」と、学年担任団は進学指導に燃え、それなりの《手ごたえ》を掴むことができました。

◆この一年は、私にとって《思い出深い》だけでなく、その後、母校で勤務する私にとって、強い《バネ》となるものでした。

【三十四回生との出会い】

◆そして翌五十四年度、私は一年学年主任として、母校での《本格稼動》に入ったのです。

今年度、同窓会総会の当番を務める[三十四回生]の皆さんとの、出会いの始まりでした。

「母校に誇りを持て！」

「三年先を見すえて学校生活を送れ！」

と私は訴え続けました。

【母校に誇りを持て！】

◆私が受持つ一年四組の朝のSHRは、「♪東に清き木曽の水…」と、校歌の斉唱で始まりました。私たちの教室は、職員室の真上でした。「何事が始まったのか？」と、谷口耕平教頭先生が、窓から見上げられたとか…（？）

◆「♪翼輝く校章は、世界の文化に寄与せんと、羽搏く我らの象徴ぞ。永久に栄光あれ、我が羽島。」

校歌こそは、私の熱い胸の中で、《母校への誇り》の象徴だったのです。

【三年先を見すえて！】

◆一年四組のA君は、父が経営する眼鏡店の跡取りでした。夏休み前の三者懇談の時、彼は「(進路情報誌で調べた上で、)全国で唯一つ《光学工学科》のあるT大学を目標校にする」と言明し、三年後、見事に夢を実現しました。彼は今、私の眼鏡コンサルタントです。

◆昨年、当番学年の「プレ同窓会」の時のことです。一年四組のB子さんが隣に来て、「私は先生の後姿を追って教員になりました」と言うのです。(私たち教員は、《後姿》という言葉に弱い。胸が熱くなりました。)

「C子さんも、D子さんも、そうです。」

◆あれから三十年、だれにも《物語》があるにちがいない。成功も失意も、悲喜交交の人生を、ぜひ聞かせて欲しい！

本年度 実行委員会より
高校第三十四回生

実行委員長　堀　里司

本年度の同窓会総会・懇親会の企画・運営は三十四回生が担当します。よろしくお願いいたします。

現在、二十五名の実行委員が「力まず、まずは、自分達が委員会を楽しもう。特定の人に負担が掛からない様にしよう。」をモットーに総会・懇親会に向けての準備に取組んでいます。

あまり堅苦しい委員会では良いアイディアは生まれませんし、特定の人に負担が集中しては効率的でないため、分科会をつくり、グループで役割・責任分担を決めて作業を進めています。

現在は二十五名の実行委員会ですが、最初はクラス幹事の内、電話連絡できた十名が集まりました。

最初に集まった十名はクラスも違い、卒業後初めて合う人がほとんどでしたが、すぐに思い出話で盛り上がり、この集まりをきっかけに、平成二十二年度総会・懇親会に出席し、先輩の方から担当年度に向けてのアドバイスをいただき、昨年七月に、学年同窓会を開催しました。

準備期間が短く、苦労はありましたが、卒業時の担任の先生にも参加いただき、七十名を超える参加者で盛り上がりました。

この学年同窓会で、二年後に総会・懇親会を担当となることを周知、協力依頼を行い、現在の実行委員会を立ち上げました。

これまで、十回の実行委員会を開催し、委員会のモットーである、「自分達が楽しもう」も実践し、新年会を行い、高校当時の恥ずかしい思い出は「すべらない話」になっていました。

この委員会活動は同級生に伝わり、委員会の枠を越えて、ゴルフコンペや女子会も結成されています。

さて、本年度は、学校創立九十周年の節目の年の総会・懇親会です。テーマは「環」。「環」は、終わりのない「輪」の意味で、この総会・懇親会に多くの皆様に参加していただき、同窓会の「輪」が更に大きくなることを期待してテーマとしましたが、私達の力のみでは成し得るものでありません。皆様のご理解とご協力が不可欠であります。

心に残る総会・懇親会となるように実行委員一同全力で取組んでおりますので、皆様のご参加をお願いいたします。

苦学生の同窓会と校歌によせる想

成瀬　るり子

今から遡る45年前、まだ昭和の春、私達は母校羽島を飛びたった。

そして、それぞれの年月を経て、平成12年10月羽島の地で再会を果たし、母校を感慨深く眺め、次回を約し別れた。

その後3年毎の同窓会は長崎から京都へ、そして九州宮崎へ、2泊3日のマイクロバスの旅へと襷は繋がり絆は更に深まった。

中には卒業以来初めての参加者もあり、その感動たるや筆舌に尽し難く感無量であった。

今回は母校の協力により、「同窓生は感激の渦に巻き込まれた。」と云っても決して過言ではなかろう。

実は久々の再会を修学旅行の続行版と位置付け、存分に楽しんで頂こうとの想いから、母校へ伴奏付きのテープを依頼した。恐縮ながらの不躾な願い事由、応答迄は気がかりだったが丁重なる連絡を頂き心弾んだ。

心待ちにしていたCDは、私の願いを遥かに超える5種類の伴奏付きで、素晴らしい出来映えの贈り物であった。

吹奏楽部の奏でる伴奏は誇り高く響き、ピアノ伴奏の旋律に温もりと癒しを受け、かわいい天使の歌声に心洗われ、一緒に口ずさみながらいつしか我が青春時代の真只中に誘い込まれ、懐かしさと切なさ、はかなさが蘇ってきて、私は啼いた。

早速、頂戴したCDから懇親会用にダビングした。まず吹奏楽部の演奏に耳を傾けながらピアノ伴奏で唄い、後輩と共に合唱する計画とした。

さて、懇親会の盛り上った所で校歌斉唱である。その前に、CDが母校から送付されてきた経過をつぶさに報告した。懇切丁寧なる母校の対応に、全員が感動感激しサプライズは想像以上の大成功であった。

ピアノ伴奏に仲間全員誰はばからず、輝く潤んだ瞳で大声で唄った。場内は感極まり一つの雰囲気で充満し、若かりし高校時代に浸っていた。母校よありがとう！

翌日合流した友も車中校歌斉唱の仲間入り。突然の出来事に驚きながら唄い、そして友はしきりに涙を拭っていた。その姿にもらい涙する感動の連続。翌々日も唄った。因みに旅行中校歌以外唄わなかった。不思議に思われるかもしれないけれど。

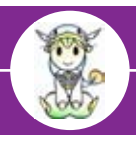
やがて、修学旅行の最終地宮崎空港に到着した。別れを惜しむ全ての同窓生が抱き合い、涙した。この光景に強く心打たれたのは、私ばかりではなかった筈。この絆は何だろうと。寝食を共にして、お互いに助け合った戦友のような仲だからこそ分かちあえる心の拠り所なのかもしれない。

次回は東京に決定、そしておそらく友人の持つ別荘地軽井沢へと行くだろう。

またきっと会えるね。3年後までごきげんよう、誇り高き優しき友人達よ。終りに我母校、永久に栄えあれと祈りつつ、感謝を込めて。

学校創立90周年記念式典実行委員会より

HASHIMA HIGH SCHOOL



創立90年に感謝　未来へ羽ばたく羽島高校

学校創立90周年を迎える羽島高校は、『地域に愛され、信頼される学校』を目指し元気よく羽搏いています。今後、更なる発展を目指して、進んでいきたいと思います。皆さまからの、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。　（マスコットキャラクター「ハッシー」作：1-6 虫賀杏美）

進路指導部

昨年度の進路状況は、四年制大学22％、短期大学12％、専門学校26％、就職34％、その他6％でした。

一昨年度と比較しますと、四年制大学29％、短期大学16％から、やや減少傾向にあります。また、そのほとんどが、指定校推薦、一般推薦AO入試での合格で、昨年度は一般入試での合格が、ついに一人もいなくなってしまいました。これは中堅以下の大学の易化と生徒の早期に進路を決定したいという傾向とによるものだと考えられます。

進学での課題は、ワンランク上の大学にチャレンジするモチベーションを育てることとそれに見合った実力をつけることにあると考えています。

進学の減少傾向に対し、就職は、求人数が増えていない状況の中、増加傾向にあります。専門高校でも求人数が減少し苦戦している中、普通科高校においてはますます厳しい状況となっています。

就職での課題は、専門高校と競合した場合に、負けないだけの学力の養成と羽島地区での継続的な求人の確保にあると考えています。

今年度の取組を紹介します。

1　土曜学習

岐阜大学教育学部の学生を中心に、学習支援者として2名、教員とともに生徒の質問に対応してもらっています。

また、生徒の要望に応えて講義形式の講座も開講し、生徒にも大変好評です。

2　就職指導員・キャリアカウンセラーによる就職指導

昨年度に引き続き、就職指導員が5月から進路指導室に常駐し、教員とともに生徒の相談・指導に当たっていただいています。

また、今年度から就職指導緊急サポート事業により、キャリアカウンセラーを派遣してもらい、6月より主に面接指導を行っていただいています。

3　インターンシップ・ふれあい看護体験

今年度もキャリア教育の一環として、インターンシップやふれあい看護体験に参加しました。

インターンシップは、7月24日～26日に各事業所で、ふれあい看護体験は、5月及び8月に、羽島市民病院、岐阜市民病院等で行われました。

そのほかにも、大学や専門学校から講師をお招きして行う進路別説明会や外部講師による進路講話などを行い、生徒の進路意識を高め、進路実現に向かって自ら行動できるような取組を行っています。

同窓会の皆様には生徒の進路達成のため、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

部活動の主な成績

弓道部

岐阜県高等学校弓道新人大会
女子個人　県3位　岩田　結衣

岐阜県高等学校総合体育大会
弓道競技　岐阜地区大会
女子団体　県大会出場
女子個人　尾関　杉江　県大会出場

書道部

第66回岐阜県美術展
書道の部　優秀賞　鈴木　真理

吹奏楽部

第55回中部日本吹奏楽コンクール
岐阜県大会
演奏曲　課題曲：立派な青年　優勝
自由曲：
"A Weekend In New York"
（作曲者 Philip Sparke）

第50回岐阜県吹奏楽コンクール
岐阜県大会
演奏曲　自由曲：　金賞
"A Weekend In New York"
（作曲者 Philip Sparke）

陸上競技部

岐阜地区高等学校総合体育大会
男子400ｍＨ　第3位　相川和也

水泳

岐阜県高等学校総合体育大会
水泳競技
女子200ｍバタフライ　決勝　8位　東海大会出場

吹奏楽部の活躍

吹奏楽部が今年もチャリティーコンサートを開催しました。平成24年5月26日にマーサ21で、同じく6月9日にカラフルタウン岐阜で公演を行いました。

まず、マーサ21では酒井陽介さん（東京藝術大学音楽学部音楽研究科器楽科卒プロトロンボーン奏者）をソリストに迎え、「A Song for Japan ～日本に捧げる歌【東日本大震災復興支援曲】」を私たちの伴奏で演奏していただきました。

カラフルタウン岐阜では、当日の天候が不安定で一時は雨天中止も覚悟しましたが、「演奏したい！」「東日本に元気を届けたい!!」という部員の強い思いと、カラフルタウン岐阜様のお力添えにより、1時間遅れでコンサートを始めることが出来ました。

各公演で演奏したプログラムには、映画『スイングガールズ』より「レッツ・スイング！」やドラマ『仁―JIN―』よりメインテーマ、「We Are the World」など計9曲を演奏しました。

各プログラム終了後にはアンコールをいただき、私たちの定番曲である「Luv, Peace Under the Groove」をお集まりいただいたお客様と一緒に踊りました。会場が一体となって、東日本へ元気を届けることができたのではないかと思います。

どちらの公演にも、本校Sクラブの生徒が募金活動に参加しました。皆様から寄せられました募金、それぞれ50，252円と、35，973円（計86，225円）は、「緑の募金（公益社団法人国土緑化推進機構）」に寄付し、東北地方の緑化推進に役立てていただきます。

羽島高校吹奏楽部はこれからも、校内行事・コンクール参加・他校合同練習・地域行事への参加・ボランティア活動などに積極的に参加し、様々な活動を通して音楽の輪を広めていきたいと思います。今後とも、応援よろしくお願いいたします。

「学校の公開」のお知らせ

広く学校を開放し、地域の方々との関わりを深めるとともに、学校の教育活動に対する理解を深めていただく機会として、岐阜県教育委員会が実施しております「岐阜県ふるさと教育週間 ― みんなで学び、みんなで語ろう！私たちの「ふるさと」― 」を、羽島高校において下記の要領で開催します。この機会に是非ともご来校いただき、90周年を迎えます母校の現在の姿をご覧いただきますよう、案内申し上げます。

1　公開日

平成24年11月6日（火）～14日（水）*土、日を除く
（公開日により、公開時間、場所が異なっていますのでご注意ください）

2　内容と日時

①授業及び学校施設の公開（6～13日）
時間：10：00～12：30
場所：羽島高校

②薬物乱用防止講話（14日）
時間：13：20～14：30
場所：羽島高校体育館

③地域に住む方とのふれあいを深める活動（15日）
時間：8：00～8：30
場所：名鉄竹鼻線「羽島市役所前」駅前
内容：*「あいさつランドはしま」

④MSリーダーズ、Sクラブボランティア活動等（15日）
時間：8：00～8：30
場所：名鉄竹鼻線「羽島市役所前」駅から学校までの生徒が通る道路上
内容：清掃活動
（「あいさつランドはしま」と同時進行）

*「あいさつランドはしま」は、羽島市内の小中高4校のPTAが協賛して、『～はしまを挨拶で明るく元気にしよう～』というスローガンのもと、平成21年9月から毎月15日（15日が土日、祭日等に重なる場合はその前日）に羽島市役所前駅を通過するすべての人に挨拶をする運動です。

事務局だより

『お願い』

・個人情報保護の立場からお持ちの同窓会名簿のお取り扱いにはご留意ください。

・**住所や姓が変わったとき、物故されたとき、お問い合わせのある方**は事務局まで郵便かFAXまたはメールでご一報ください。

・平成22年度より、同窓会名簿、及びデータ管理は、株式会社サラト（兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL 079－284－1380）にお願いすることとなりました。同窓会報の発送や同窓会名簿管理等は㈱サラトが行います。

・昨年度より、創立90周年に向けた同窓会名簿改訂版作成の調査を開始いたしました。㈱サラトより郵便物発送や電話による確認がございます。今年度10月初旬に完成予定です。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

＊羽島高校のホームページをご覧下さい。上記のような母校の今の様子や同窓会総会などについてご覧いただけます。ホームページアドレス　http://school.gifu-net.ed.jp/hasima-hs/